

市内では
いろんなことが
ありました。

まちの話題



市 異業種懇話会を開催

ボルベリアダグリで開催された同会に、企業、高校、金融機関・NPO法人等が多数参加しました。

2月24日、に開催された同会は、市内企業の経営振興や企業誘致、雇用・就業機会の創出につなげることを目的に平成19年から年1回開催しています。県大隅加工技術研究センター岩元所長の「これからの大隅食産業の戦略的展開」と題した基調講演等が行われ、参加者の情報交換と交流が図られました。

農 林漁業従事者婚活ツアーを開催

市内の農林漁業従事者男性と関西圏女性とのさんふらわあを活用した婚活ツアーが開催されました。

2月27日、農業機械乗車体験、野菜の収穫体験などを行い、男性参加者が生産している食材を活用した料理でおもてなしました。翌日の28日には、すっかり打ち解けた様子で、いちご大福作りやお茶料理を堪能しました。参加した男性9名、女性11名のうち、3組のカップルが成立しました。



ポ ランティア活動で表彰

木藤チエさん（松山町新橋）がボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰を受賞しました。

3月1日、市役所松山支所において表彰伝達式が行われました。木藤さんは旧松山町の頃から現在まで、20年以上にわたり高齢者の介護予防や生きがい活動として編みぐるみづくりの指導を行ってまいります。木藤さんの永年にわたる活動とその功績が特に顕著であると認められて今回の受賞となりました。



筆 文字を楽しく学びました

子どもわくわく夢の会（代表：内藤由佳さん）が「みんなが笑顔になれる筆文字講座」を開催しました。

3月12日、通山保育園で開催された同講座に香月小学校の児童と保護者など約30人が参加しました。通山保育園長の横峯真先生が講師となり、参加者は自由に楽しく筆文字を体験しました。参加した児童は「習字では絶対怒られる書き方が楽しかった」「友達に手紙を書きたい」と感想を話しました。



ポ ートマラソンが開催されました

志布志運動公園陸上競技場周辺で開催された「2016 第11回しぶしポートマラソン大会」に市内外から618人が参加し、ハーフ、10km、5km、3km、ファミリーコースを楽しみました。

3月6日、雨の中開催された同大会には、市内外から多くのランナーが集まり、1歳から89歳の幅広い年齢層の参加者が早春の志布志の景色を楽しみながら走りました。また、多くの関係機関の協力により大会が運営され、選手をサポートしました。



3 K m コース（各年代1位の方のみ掲載します）				197名	敬称略
小学生男子	前原 駿（東串良町）	10分43秒	40歳代男子	藤沢 晋太郎（宮崎県）	11分08秒
小学生女子	森山 七海（鹿児島市）	11分25秒	40歳代女子	長谷川 紀子（宮崎県）	14分08秒
中学生男子	安川 元気（志布志市）	9分29秒	50歳代男子	有村 憲治（曾於市）	10分53秒
中学生女子	中野 法恵（肝付町）	11分49秒	50歳代女子	田中 真理子（宮崎県）	22分58秒
29歳以下男子	浦川 優也（熊本県）	9分43秒	60歳代男子	小森 透（肝付町）	12分13秒
29歳以下女子	平木 里佳（曾於市）	11分28秒	60歳代女子	黒木 ひとみ（宮崎県）	14分22秒
30歳代男子	山本 純嘉（熊本県）	13分58秒	70歳以上男子	春菌 清文（鹿屋市）	14分42秒
30歳代女子	曾我 由香利（志布志市）	15分51秒	70歳以上女子	出場者なし	

5 K m コース（各年代1位の方のみ掲載します）				79名	敬称略
中学生男子	山口 瑠偉（志布志市）	18分33秒	40歳代女子	井崎 直美（大崎町）	28分08秒
中学生女子	黒石 志乃（志布志市）	20分43秒	50歳代男子	小野 浩二（熊本県）	20分00秒
29歳以下男子	川井田 絢星（曾於市）	18分38秒	50歳代女子	出場者なし	
29歳以下女子	四俣 美希（曾於市）	19分37秒	60歳代男子	園田 通昭（大崎町）	20分11秒
30歳代男子	岡本 英伯（鹿屋市）	16分40秒	60歳代女子	新保 幸子（鹿屋市）	32分52秒
30歳代女子	高野 和代（宮崎県）	26分24秒	70歳以上男子	鈴木 鏡満（熊本県）	23分15秒
40歳代男子	柏崎 健治（宮崎県）	18分02秒	70歳以上女子	出場者なし	

10 K m コース（各年代1位の方のみ掲載します）				102名	敬称略
29歳以下男子	図師 文也（志布志市）	37分00秒	50歳代男子	豊丸 一人（宮崎県）	39分28秒
29歳以下女子	假水 陽子（福岡県）	46分53秒	50歳代女子	神田 美幸（鹿屋市）	53分28秒
30歳代男子	石渡 隆廣（志布志市）	45分33秒	60歳代男子	永里 豊重（曾於市）	43分48秒
30歳代女子	鈴木 香奈恵（始良市）	48分42秒	60歳代女子	轟原 さつ子（霧島市）	55分41秒
40歳代男子	蒲生 英樹（宮崎県）	33分52秒	70歳以上男子	高槻 謙（岩手県）	49分23秒
40歳代女子	小林 明子（宮崎県）	42分17秒	70歳以上女子	高槻 くに子（岩手県）	1時間04分03秒

ハーフ コース（各年代1位の方のみ掲載します）				144名	敬称略
29歳以下男子	四俣 勇人（曾於市）	1時間12分19秒	50歳代男子	樺村 哲也（佐賀県）	1時間29分49秒
29歳以下女子	山田 麻衣子（福岡県）	1時間46分37秒	50歳代女子	山本 美由紀（薩摩川内市）	2時間13分19秒
30歳代男子	鬼束 洋一郎（宮崎県）	1時間19分49秒	60歳代男子	矢野 浩二（霧島市）	1時間35分40秒
30歳代女子	吉田 愛子（宮崎県）	2時間18分37秒	60歳代女子	出場者なし	
40歳代男子	末川 克博（曾於市）	1時間20分38秒	70歳以上男子	出場者なし	
40歳代女子	黒木 恵子（霧島市）	2時間01分45秒	70歳以上女子	出場者なし	

ファミリー コース	33組 96人	赤池 政治ファミリー	4分14秒
-----------	---------	------------	-------



卓 球を通じて交流しました

志布志運動公園体育館で「こころざし卓球交流大会」が開催されました。

3月19日、同じ地域で卓球をするもの同士の交流、若い世代の育成を目的に開かれ、市内の小中高生から社会人まで約40名が参加しました。当日は子どもから大人まで卓球を楽しみ、小学生が社会人を打ち負かす場面もあるなど、歓談も交えながらにぎやかな雰囲気の中で試合が行われました。

石 橋巡りバスツアーを開催

志布志歴史研究会のガイドで志布志に残る魅力的な石橋を巡るバスツアーが開催されました。

3月13日、市内各地に残されている石橋を巡り、石橋を研究している志布志歴史研究会のほか石橋を造られた方々の子孫や保護活動をされている地元の方々の説明も交え、楽しく学びました。参加者は「使われなくなっても、地元の方々に大事に守られている石橋の姿にとても感動した。」と話していました。



お 茶づくりで癒しと健康を

自然環境に配慮したお茶づくりを目指す志布志有機茶研究会（堀口千郎会長）が発足しました。

3月5日、鹿児島県茶業試験場大隅支場において同会の設立総会が開催され、市内でお茶づくりを行う会員17名が出席しました。同会は、微生物・土着天敵などの自然環境に配慮した更に安心安全でおいしいお茶づくりや園芸、畜産など他の作物との技術の交換などに取り組んでいます。

全 国各地から多数の参加がありました

SHIBUSHI FOOTBALL FESTIVAL がしおかぜ公園など市内のグラウンドで開催されました。

3月27日から4月2日に開催された同大会に、全国各地のサッカークラブチームや中学校、高校など36団体が参加し、約900名の選手が志布志市で交流戦を行いました。同大会は3つの年代別にそれぞれ熱戦が繰り広げられ、協賛のBORT RACEによる表彰式も行われました。



自 衛隊入隊者を激励しました

平成27年度自衛隊入隊者壮行会が開催され、入隊予定者9名が参加しました。

3月13日、有明地区公民館で開催された同会に、入隊予定者10名のうち9名が参加しました。

壮行会では市長のほか海上自衛隊鹿屋航空基地隊指令、地元出身自衛隊員などから激励の言葉が贈られました。入隊予定者は、この春から全国各地の教育隊に着任し訓練に励みます。

地 域住民の協働が評価されました

山重地区ふるさとづくり委員会が県大隅地域振興局長から表彰されました。

3月8日、平成27年度おすすみの地域力表彰の表彰式が大隅地域振興局で行われました。山重地区では、ふるさとづくり委員会、公民館、地域住民が協働で高齢者の見守り活動、グラウンドゴルフ場の整備、イベント等を多数開催しており、これまでの積極的な取組が評価されました。



無 人ヘリ競技の県大会で優勝

航空防除などの無人ヘリ操縦技術を競う鹿児島県無人ヘリコプター飛行技術競技大会で優勝しました。

3月11日、薩摩川内市で開催された同大会の技能認定証取得後5年以上の部に、志布志市農業公社の猜野宏樹さん（オペレーター、有明町）、有川信幸さん（ナビゲーター、松山町）ペアが出場し見事優勝しました。お二人は今年10月に茨城県で開催される全国大会に出場します。

福 祉の向上に役立ててください

株式会社 KAMIMURA 志布志福祉斎場から福祉の向上に役立ててほしいと寄附がありました。

3月14日、同社の上村伸一さん（代表取締役）が市長室を訪れ、チャリティ活動で集めた寄附金を市長に手渡しました。上村さんは、以前各地の福祉大会などに仕事で携わった経験から、何か恩返しをしたいとこの活動に取り組んでいます。頂いた寄附金は、児童福祉向上のために使われます。

